

2017年度 環境経営レポート

対象期間：2017年7月1日～2018年6月30日



発行日：2018年8月29日



THINK & BUILD
AWAJI 淡路土建株式会社

URL：<http://www.awaji-doken.co.jp/index.html>

目 次

1	組織概要・対象範囲及び事業活動	1-2
2	環境経営方針	3
3	実施体制	4-5
4	環境経営目標とその実績	6-8
5	主要な環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	9
6	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	10
7	代表者による全体の評価と見直し	11

1. 組織概要・対象範囲及び事業活動

◆事業所名 淡路土建 株式会社

◆代表者名 取締役社長 琴井谷 隆志

◆本社・支店所在地

◇本社・リサイクルアワジ

〒656-0014 兵庫県洲本市桑間706番地
TEL(0799)22-2525 FAX(0799)23-0299

◇神戸支店 〒651-2113 兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬1133-1
TEL(078)974-3600 FAX(078)975-0567

◇大阪支店 〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀1丁目16-22 (牧野ビル)
TEL(06)6443-4488 FAX(06)6443-0120

◇淡路支店 〒656-2224 兵庫県淡路市大谷922-1
TEL(0799)64-1650 FAX(0799)64-1651

◆環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 滝本 真紀夫
環境管理担当者 中尾 大介
TEL(0799)22-2525 FAX(0799)23-0299
nakao@awaji-doken.co.jp

◆創業 明治18年9月 1日 (1885年)

◆設立 昭和19年8月18日 (1944年)

◆資本金 9,600万円

◆売上高 480,012万円 (2017/7~2018/6期)

◆建設業許可 国土交通大臣許可 (特-28) 第551号

[土木工事業 建築工事業 とび・土工工事業 石工事業 電気工事業
管工事業 鋼構造物工事業 舗装工事業 しゅんせつ工事業
造園工事業 水道施設工事業 解体工事業]

◆建築士事務所 淡路土建一級建築士事務所 (兵庫県) 知事登録 第01A03097号

◆宅地建物取引業 兵庫県知事 (11) 第800019号

◆ISO9001 1998年認証取得

◆認証・登録の対象範囲及び事業活動

◇対象事業所 本社・リサイクルアワジ、神戸支店、大阪支店、淡路支店

◇事業活動 総合建設業(土木工事、建築工事)・産業廃棄物処分業・建設資材販売業・宅地建物取引業

◆事業規模 (2017/7～2018/6期)

	本 社	神戸支店	大阪支店	淡路支店	合 計
総従業員	106 人	16 人	1 人	6 人	129 人
延べ面積	1,849 m ²	605 m ²	26 m ²	131 m ²	2,611 m ²
敷地面積	14,784 m ²	3,372 m ²	ビルの1室	3,142 m ²	21,298 m ²

◆建設現場等の概要 (2017/7～2018/6期)

元請工事	198件
下請工事	85件
産業廃棄物処分量	27,991 t
建設資材販売量	24,257 t

◆産業廃棄物処分業許可

兵庫県知事 第02829019757号
 許可の年月日 平成25年12月24日
 許可の有効年月日 平成30年12月23日

◆産業廃棄物処分の事業の範囲

1. 中間処理業

取扱産業廃棄物の種類

(1) がれき類 (石綿含有産業廃棄物を除く)

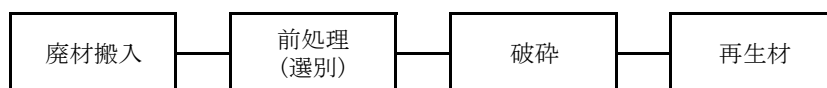
2. がれき類の破砕施設

設置場所 兵庫県洲本市桑間706番地の1 他10筆

設置年月日 1993年12月24日

処理能力 320 t / 日 (8時間稼働)

3. 処理工程図



※処理料金については、品目、内容により異なるため、下記へお問い合わせください
 リサイクルアワジ TEL (0799) 22-2525

◆主な環境負荷の実績

項目	単位	環境負荷の実績		主なもの
		2016年度	2017年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	874,766	963,116	軽油・ガソリン・電力・重油
廃棄物排出量	t	3,903	4,995	
産業廃棄物	t	3,852	4,780	アスガラ・コンガラ 建設木材等
一般廃棄物	t	51	215	
総排水量	m ³	3,566	2,600	

2. 環境経営方針

基本理念

土木・建築業を担う私たちの事業は、人々の生活を利便に、快適にするという使命の一方で、ともすれば自然を切り拓くことにより環境を破壊する危険な側面も持っています。

当社は創業以来、「人にやさしく、人にあたたかく、自然との調和、共存」という、「人をやさしく包む環境づくり」を信条にしており、これからも私たちはそこに向かう不変の姿勢を持ち続けます。

行動指針

総合建設業を営む当社は、事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけ、以下の事項について取組みます。

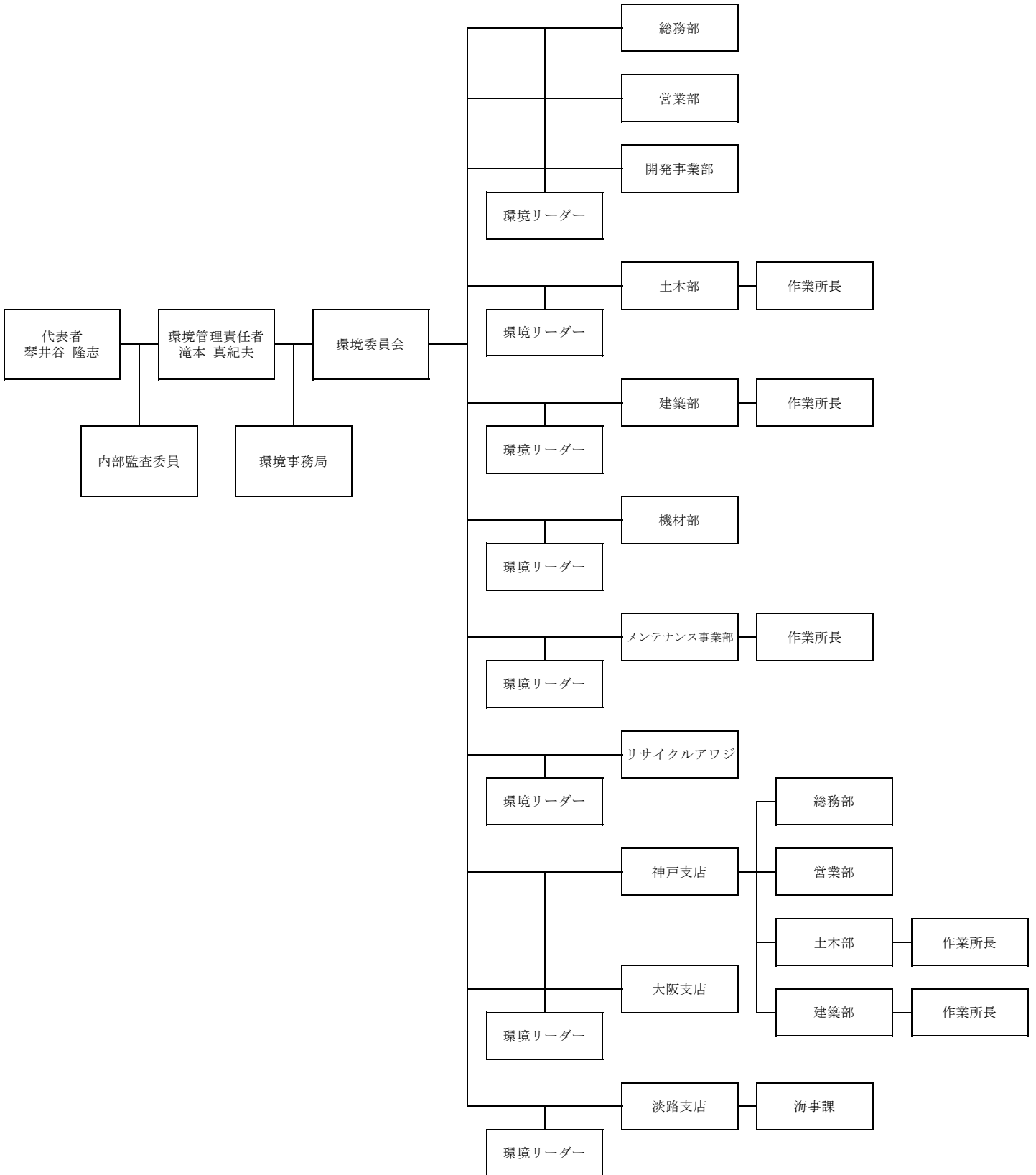
1. 環境関連法規を遵守します。
2. 建設事業に伴う環境負荷の低減に努めます。
 - 1) 電力及び自動車等燃料（軽油・ガソリン・重油）の使用による二酸化炭素排出量の削減
 - 2) 一般廃棄物・産業廃棄物排出量の削減及びリサイクル率の向上
 - 3) 水使用量の削減
3. 建設事業を通じて環境改善に努めます。
 - 1) 事務用品等のグリーン購入
 - 2) 環境に配慮した施工法の採用
4. 本方針を全従業員に周知徹底し、全社一丸となり環境保全活動を推進します。

制定日：2017年10月17日

淡路土建 株式会社

取締役社長 琴井谷 隆志

3. 実施体制



【役割・責任・権限】

担当	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する代表責任者 ・環境経営の実施及び維持管理に必要な人材・資金・設備を用意する ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の制定及び全社員への周知 ・代表者による環境経営システム全体の評価と見直し ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築・運用・維持に関する責任者 ・代表者への報告 ・環境経営目標・環境経営計画及び環境経営計画実績の承認 ・環境委員・環境リーダー・内部監査委員の指名 ・環境委員会の委員長として環境経営計画の実施を推進 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境経営システムに必要な文書の作成 ・環境経営目標、環境経営計画の作成及び実績集計 ・環境経営レポートの作成
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者を補佐し、環境経営システムを構築・運用・維持する ・環境経営目標・環境経営計画の評価及び見直し ・環境関連法規等の遵守状況の評価及び見直し ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
内部監査委員	<ul style="list-style-type: none"> ・内部監査手順書による内部監査の実施 ・代表者・環境管理責任者への監査結果報告
環境リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会と各担当部門との繋ぎ役となり、部門長と共に環境経営計画の実施を推進する
部門長及び作業所長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営目標・環境経営計画の周知と実施 ・自部門における環境関連法規制等の遵守 ・自部門における教育訓練の実施 ・自部門で特定された緊急事態への準備及び対応の訓練の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の確認と理解 ・環境経営計画の遵守と実施

4. 環境経営目標とその実績

NO.	環境経営方針、 負荷、取組との 関連	環境経営目標	単位	2016年度 基準値	2017年度		2018年度 目標値	2019年度 目標値
					目標値	実績値		
1.1	CO2排出量の削減	軽油使用量の削減	ℓ kg-CO2	163,615	160,342	164,803	158,706	157,070
				429,382	420,795 ▼2%	432,498 △0.7%	416,501 ▼3%	412,207 ▼4%
1.2	CO2排出量の削減	ガソリン使用量の削減	ℓ kg-CO2	99,560	97,568	105,246	96,573	95,577
				231,144	226,521 ▼2%	244,346 △5.7%	224,210 ▼3%	221,898 ▼4%
1.3	CO2排出量の削減	電力使用量の削減	kWh kg-CO2	272,452	267,002	314,652	264,278	261,553
				138,678	135,905 ▼2%	160,158 △15.5%	134,518 ▼3%	133,131 ▼4%
1.4	CO2排出量の削減	重油使用量の削減	ℓ kg-CO2	24,567	24,076	44,000	23,830	23,584
				66,567	65,236 ▼2%	119,224 △79.1%	64,570 ▼3%	63,905 ▼4%
CO2排出量※1の削減			kg-CO2	874,766	857,271 ▼2%	963,116 △10.1%	848,523 ▼3%	839,775 ▼4%
2.1	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物（アスガラ・コンガラを除く）のリサイクル率の向上	%	36.0	37.0 △2.8%	36.3 △0.8%	40.0 △11%	40.0 △11%
2.2	廃棄物排出量の削減	コピー用紙購入量の削減	枚	416,900	408,562 ▼2%	488,000 △17.1%	404,393 ▼3%	400,224 ▼4%
3	水使用量の削減	水使用量の削減	m ³	3,566	3,494 ▼2%	2,600 ▼27.1%	3,459 ▼3%	3,423 ▼4%
4	事務用品等のグリーン購入	グリーン購入率の向上	%	8	16 △100%	26.4 △230%	18 △130%	20 △150%
5	環境に配慮した施工法の採用	環境配慮型施工※2の推進	%	90	93 △3%	100 △11.1%	93 △3%	93 △3%

※各年度目標・実績欄のパーセンテージは基準値に対する増減率を表示

※電力の二酸化炭素排出係数は関西電力2017年度公表値0.509を使用

※1上記4項目の他、灯油・ガスを含む全ての二酸化炭素排出量

※2低騒音型・低振動型・排ガス規制対応建設機械等を用い環境に配慮した施工

NO.	環境経営方針、 負荷、取組との 関連	環境経営目標	担当部署	単位	2016年度 基準値	2017年度	
						目標値	実績値
1.1	CO2排出量の削減	軽油使用量の削減（総量）	本社	ℓ	313	307	985
				kg-CO2	821	806	2,585
			本社（作業所）	ℓ	109,495	107,305	106,038
				kg-CO2	287,353	281,606	278,279
			リサイクルアワジ	ℓ	52,864	51,807	56,511
				kg-CO2	138,734	135,960	148,304
			神戸支店	ℓ	12	11	30
				kg-CO2	31	29	79
			神戸支店（作業所）	ℓ	835	818	1,101
				kg-CO2	2,191	2,147	2,889
			淡路支店	ℓ	96	94	138
				kg-CO2	252	247	362
			合計	ℓ	163,615	160,342	164,803
				kg-CO2	429,382	420,795	432,498
1.2	CO2排出量の削減	ガソリン使用量の削減（総量）	本社	ℓ	30,929	30,310	28,478
				kg-CO2	71,807	70,370	66,116
			本社（作業所）	ℓ	54,247	53,162	59,019
				kg-CO2	125,942	123,425	137,023
			神戸支店	ℓ	7,530	7,379	6,607
				kg-CO2	17,482	17,132	15,339
			神戸支店（作業所）	ℓ	5,493	5,383	9,460
				kg-CO2	12,753	12,497	21,963
			大阪支店	ℓ	496	486	500
				kg-CO2	1,152	1,128	1,161
			淡路支店	ℓ	865	848	1,182
				kg-CO2	2,008	1,969	2,744
			合計	ℓ	99,560	97,568	105,246
				kg-CO2	231,144	226,521	244,346
1.3	CO2排出量の削減	電力使用量の削減	本社	kWh	96,120	94,197	92,536
				kg-CO2	48,925	47,947	47,101
			本社（作業所）	kWh	85,519	83,808	131,747
				kg-CO2	43,529	42,658	67,059
			リサイクルアワジ	kWh	47,146	46,203	37,450
				kg-CO2	23,997	23,517	19,062
			神戸支店	kWh	25,469	24,960	25,146
				kg-CO2	12,964	12,705	12,799
			神戸支店（作業所）	kWh	9,390	9,202	20,376
				kg-CO2	4,780	4,684	10,372
			大阪支店	kWh	2,039	1,998	1,745
				kg-CO2	1,038	1,017	888
			淡路支店	kWh	6,769	6,634	5,652
				kg-CO2	3,445	3,377	2,877
合計	kWh	272,452	267,002	314,652			
	kg-CO2	138,678	135,905	160,158			
1.4	CO2排出量の削減	重油使用量の削減	本社（作業所）	ℓ	567	556	0
				kg-CO2	1,536	1,506	0
			淡路支店	ℓ	24,000	23,520	44,000
				kg-CO2	65,031	63,730	119,224
			合計	ℓ	24,567	24,076	44,000
				kg-CO2	66,567	65,236	119,224
CO2排出量の削減			本社	kg-CO2	588,866	577,091	604,297
			リサイクルアワジ		162,731	159,477	167,366
			神戸支店		50,237	49,229	63,507
			大阪支店		2,190	2,145	2,049
			淡路支店		70,742	69,329	125,897
			合計		874,766	857,271	963,116

NO.	環境経営方針、 負荷、取組との 関連	環境経営目標	担当部署	単位	2016年度	2017年度	
					基準値	目標値	実績値
2.1	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物（アスガラ・コンガラを除く）のリサイクル率の向上	本社・リサイクルアワジ	%	36.0	37.0	50.5
			神戸支店		0.0	37.0	0.0
			全体		36.0	37.0	36.3
2.2	廃棄物排出量の削減	コピー用紙購入量の削減	本社	枚	374,400	366,912	456,000
			神戸支店		42,500	41,650	32,000
			合計		416,900	408,562	488,000
3	水使用量の削減	水使用量の削減	本社・リサイクルアワジ	m ³	870	852	881
			本社（作業所）		2,253	2,208	1,342
			神戸支店		153	150	94
			神戸支店（作業所）		262	257	269
			大阪支店		0	0	0
			淡路支店		28	27	14
			合計		3,566	3,494	2,600
4	事務用品等のグリーン購入	グリーン購入率の向上	本社	%	8.0	16.0	26.4
			神戸支店		8.0	16.0	25.3
			全体		8.0	16.0	26.4
5	環境に配慮した施工法の採用	環境配慮型施工の推進	本社	%	90.0	93.0	100
			神戸支店		90.0	93.0	100
			全体		90.0	93.0	100

5. 主要な環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境経営目標及び環境経営計画の概要	2016年度 基準値	2017年度			次年度の取組内容	
		目標値	実績値	達成率		取組結果評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 1) 軽油使用量の削減 (ℓ) ①車両・建設機械に過剰な負荷をかけない ②自主点検整備の徹底 ③作業休止時のエンジン停止 ④効率的な作業工程と計画の実施 2) ガソリン使用量の削減 (ℓ) ①エコドライブの徹底 ②駐車時のアイドリングストップ ③急発進・急加速・急ブレーキの禁止 ④自主点検整備の徹底 ⑤低燃費車・ハイブリッド車の導入 3) 電力使用量の削減 (kWh) ①不要な照明の消灯(不在時・昼休み) ②OA機器の不使用时の電源管理 ③省エネ機器の導入 ④室内温度の管理(冷房時28℃・暖房時20℃) ⑤空調フィルターの清掃 4) 重油使用量の削減 (ℓ) ①船舶・機械の自主点検整備の徹底 ②作業休止時のエンジン停止 ③効率的な作業工程と計画の実施	163,615	160,342	164,803	97.2%	【評価：×】 売上・作業量の増加により燃料使用量は微増だったが、計画的な運行・施工等の取組は実施できている 【評価：×】 エコドライブの意識が浸透したが売上の増加、遠隔地での作業、人員の増加により燃料使用量が増加した 低燃費車へ更新(2台) 【評価：×】 消灯意識が浸透したが、酷寒日・作業所数の増加により電力消費量が増加した 本社空調設備を更新 【評価：×】 海上作業が増えたため重油使用量が大幅に増加したが、計画的な運行・施工は実施されている	引続き工程・計画管理を徹底する km/ℓ及びℓ/hを用いた原単位で測定する 引続きエコドライブを徹底させる km/ℓを用いた原単位で測定する 引続きルールを徹底させる 本社空調設備更新の効果を確認する
2. 廃棄物排出量の削減 1) 産業廃棄物(アスガラ・コンガラを除く)のリサイクル率の向上 (%) ①分別によるリサイクル率の向上 ②産業廃棄物の分別指導・ルールの徹底 2) コピー用紙購入量の削減 (枚) ①両面印刷・集約印刷による使用量の削減 ②裏紙の使用 ③プレビュー確認によるミスコピーの撲滅 ④電子媒体の利用によるペーパーレス	36.0	37.0	36.3	98.1%	【評価：×】 目標未達成だが、指導・ルールが行き届き従業員の意識は向上している 【評価：×】 両面印刷、裏紙の使用等の意識が浸透したが、提出書類が大幅に増加したため購入量を抑制できなかった	引続き分別意識を徹底させる 次年度からは不要な紙使用の抑制を含む一般廃棄物排出量の削減を目標とする
3. 水使用量の削減 (m³) ①節水の呼びかけ表示 ②手洗い時・洗車時の節水の徹底	3,566	3,494	2,600	125.6%	【評価：○】 使用用途の変更による影響が大きかったが、こまめな止水・節水意識の徹底ができた	引続きルールを徹底させる
4. グリーン購入率の向上 (%) エコマーク商品等の優先購入	8	16	26.4	165.0%	【評価：○】 発注方法の見直しによりグリーン購入を推進した	活動を継続し定着させる
5. 環境配慮型施工の推進 (%) 低騒音型・低振動型・排ガス規制対応建設機械等を用い環境に配慮した施工の推進	90	93	100	107.5%	【評価：○】 規制対応重機の使用を徹底することができた	規制対応機械の使用は必須であるので、次年度からは対象を変更し環境配慮型施工を推進する

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

	法律名等	遵守事項	遵守状況
1	廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の委託基準 産業廃棄物管理表交付等状況報告書の作成 産業廃棄物の適正処理 収集運搬業者・処理業者の許可の確認 産業廃棄物契約書の保存 マニフェスト・帳簿の保存 産業廃棄物の一時保存 	遵守
2	建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> 対象工事の確認及び工事の届出 分別解体の実施 特定建設資材廃棄物の再資源化 実施記録の作成 	遵守
3	建設業の再生資源利用省令	<ul style="list-style-type: none"> 再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資材利用計画書・実施記録の作成 	遵守
4	大気汚染防止法	<ul style="list-style-type: none"> 石綿使用の有無の事前調査、調査結果の発注者への説明と現場掲示 特定粉じん排出等作業の実施届出 作業基準の遵守 	遵守
5	自動車NOx・PM法	<ul style="list-style-type: none"> 規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止 	遵守
6	騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> 特定建設作業の届出 規制基準の遵守 	遵守
7	振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> 特定建設作業の届出 規制基準の遵守 	遵守
8	オフロード法	<ul style="list-style-type: none"> 基準に適合した特定特殊自動車の使用 	遵守
9	建築物省エネ法	<ul style="list-style-type: none"> 一定規模以上の建築物のエネルギー消費性能への適合及び届出の実施 	遵守
10	高圧ガス保安法	<ul style="list-style-type: none"> 高圧ガスの適正な使用、保管の実施 高圧ガス移動中に常備する資材・工具類の携行 イエローカードの携帯 事故発生時の緊急連絡先の確認 	遵守
11	浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> 浄化槽設置の届出 保守点検、清掃、水質定期検査の実施 	遵守
12	フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> フロン類使用機器の定期点検と記録の実施 フロンガス漏洩防止、廃棄時の適切な処理 当該機器設置有無の確認、発注者への書面による説明 	遵守
13	港則法	<ul style="list-style-type: none"> 浚渫土砂等の揚土時の土石等の海中落下防止措置の実施 	遵守
14	海洋汚染等防止法	<ul style="list-style-type: none"> 給油・点検時の油漏れ対策の実施 油流出事故発生時の適切な対応 浚渫土砂の適正な投棄 船舶発生廃棄物の適正な処分 	遵守

違反・訴訟等の有無

当社の環境関連法規への違反は、事務所・作業所ともにありません。

過去3年間にわたり、関係機関からの違反等の指摘及び訴訟はありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し

- ・環境経営方針について

現在の取組は適切であり、以後は持続発展させていく。

- ・環境経営目標・環境経営計画について

目標は妥当であるが、達成状況については仕事の量や場所、気候等の影響が大きく、結果に対する分析が必要であり、それを踏まえ次なる目標や計画を作成する。

- ・法規制等の遵守状況について

法規制等の改正には十分留意し、今後も違反や苦情の無いよう事業活動を行う。

- ・全体評価

初年度の取組、結果はどうであったか。上手くいったこと、駄目であったことは何か。各々が十分な評価を行ってほしい。

異常気象が続く現在、環境への配慮は誰もが思うことである。それを組織として行動に繋げるには、適切な目標（数値）と取組みやすいルール（手順）が大事である。

決めたことを地道に取り組んでいこう。

2018年8月28日

淡路土建株式会社

取締役社長 琴井谷 隆志